

学際高等研究教育院のパンフレットについて

添付したパンフレットは 2026 年度発行予定(2027 年度教育院生申請者対象)のもので、2026 年度修士研究院生に申請する学生は以下の点を読み替えてください。

申請資格: 大学院共通科目: 研究科横断科目(自専攻開講科目ど一部を除く)を4単位以上
取得した者



申請資格: 指定科目を6単位以上修得した者(所属する研究科または専攻以外に開設されている指定科目から4単位以上を修得する必要があります。)

About the brochure

of the Institute for Interdisciplinary Advanced Research and Education

The attached brochure is the one scheduled to be published for 2026 (intended for applicants to the institute for the 2027 academic year), so students applying to the Master's Research Institute in 2026 should read the following points with the substitutions below.

Eligibility for application: Graduate school common courses: those who have earned four or more credits in cross-departmental courses (excluding some courses offered within their own major)



Eligibility: Those who have earned 6 or more credits in specified courses (they must have earned at least 4 credits from specified courses offered outside their own graduate school or major).

異分野を融合した 新しい研究分野へ

ワールド・クラスの若手研究者の養成支援

本院は異分野を融合した新しい研究分野で、卓越した知識と創造的な「総合知」の素養をもつワールド・クラスの若手研究者を養成し、欧米の大学院と競える質の高い大学院教育を実現するために、全学的な教育研究支援の活動を行います。

学際、融合分野で優れた学生を選抜

修士・博士研究教育院生

既存の
ディシプリンに
とられない
自由な発想

世界
トップレベルの
若手研究者を
養成

複眼的視野で
多角的にみる
見方

本院の特徴

本院は「学際科学フロンティア研究所」と連携し、教育と研究をコインの裏表のような一体のものとしてとらえ、研究所と共同で開催される全領域合同研究交流会、各種セミナー等に研究教育院生が積極的に関わり、異分野接触を実践的に展開して行きます。本院は世界の第一線で活躍してきた国際的にアクティビティの高い研究者群や部局と連携・協力して活動する学内共同の組織です。

また、本院は、既存のディシプリンにとられない自由な発想や異分野との自由な交流の実現、複眼的視野で多角的にみる見方や創造的な「総合知」の醸成のために独自のカリキュラムを各研究科や卓越した研究者の協力を得て開発し、大学院教育の一環として提供するとともに、異分野融合領域で活躍を希望する優れた学生を選抜し、経済的支援及び研究支援を行います。

融合領域新分野で研究活動を希望する学生のみなさんへ

学際高等研究教育院は、「博士課程前期2年の課程及び修士課程」（以下「修士課程」）の各2年次生、「博士課程後期3年の課程及び医学、歯学及び薬学履修課程」（以下「博士課程」）各1年次生の中で、融合領域の新分野で学習及び研究活動を行うことを希望する学生や学際科学フロンティア研究所やそれに類する研究プロジェクトの融合分野の研究に関わる学生の中から優れた学生を選抜して、各種の支援を行います。募集定員は修士課程15人、博士課程30人として。そこで、選抜の公平性、透明性を確保するために、各研究科での推薦、本院による選抜審査について、マニュアルを作成し、公開します。修士研究教育

院生、博士研究教育院生として、各研究科で推薦を受け、また本院で選抜されるには、申請者が学業に於いて研鑽に励み、他の学生の範となるような学生であることを前提として、学業成績が優秀で、研究に対して積極的に取り組んだ研究成果を有しており、かつ、1) 申請された融合領域研究の新分野での研究計画が具体的であり、優れていること、2) 研究計画を遂行しう能力があると見なされ、また準備状況も示されていること、3) 融合領域研究の新分野で将来を担う優れた研究者となることが期待されることなどが求められるほか、4) 融合領域分野における研究者養成の必要性を勘案することもあります。

申請・選抜に関する詳細は、本院のウェブサイトにありますので参照してください。
https://www.iiare.tohoku.ac.jp/application_dc/



申請資格・支援内容

／ 修士研究教育院生 ／

- 採用人数／15名
- 申請資格／本学の博士課程後期3年の課程に進学する者
大学院共通科目・研究科横断科目（自専攻開講科目など一部を除く）を4単位以上取得した者
- 支援内容／奨学金年額60万円（授業料相当） 研究科の壁を越えた研究活動を推進する際の橋渡しの支援
※重複して受給することができないと規定されている奨学金等を受給している場合は、本院から奨学金は支給できません。

○申請から採用まで

大学院共通科目・研究科横断科目（自専攻開講科目など一部を除く）を4単位以上取得

「修士研究教育院生」への申請（4月）

書類・面接試問審査（5月～6月）

修士課程等2年次「修士研究教育院生」採用者決定（6月）

／ 博士研究教育院生（標準修業年限内） ／

- 採用人数／30名（修士課程からの継続採用者を含む）
- 申請資格／「修士研究教育院生」であった者、「修士研究教育院生」以外で特に優秀な者
- 支援内容／① 研究奨励費：20万円（月額）
【対象外】 標準修業年限を超過した者（留年者）、休学中の者、年間180万円以上の収入がある者、日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生、供給不可の奨学金等を受給している者等 ※標準修業年限内の支給となります。※現時点で予定する支援内容であり、諸般の事情により変更する場合があります。
② 授業料等全額免除
【対象外】 標準修業年限を超過した者（留年者）、休学中の者、年間180万円以上の収入がある者（学位プログラム等に所属する博士課程学生は対象）、供給不可の奨学金等を受給している者等
③ 公募型旅費支援（選抜制）

○申請から採用まで

博士課程1年次進学・編入学前または医学・歯学・薬学履修課程1年次入学前「博士研究教育院生」へ申請（2月）

書類・面接試問審査（3月～4月）

博士課程1年次または医学・歯学・薬学履修課程1年次「博士研究教育院生」採用者決定（4月）

【お問い合わせ】

東北大学 学際高等研究教育院 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
TEL: 022-795-5749 URL: <https://www.iiare.tohoku.ac.jp/> E-mail: diare-senryaku@grp.tohoku.ac.jp

東北大学 高等大学院機構 学際高等研究教育院

Tohoku University Advanced Graduate School
Division for Interdisciplinary Advanced Research and Education (DIARE)



異分野融合領域における
教育・研究の新展開を目指して

humans & social system

advanced basic science

materials & energy

device technology

information & systems

life & environmental science

2026

学際高等研究教育院の事業

学際・融合分野で優れた学生を募集

優れた学生の資格要件として、博士課程前期2年の課程(修士)の1年次生の間に、
本院が指定する授業科目を、研究科や専攻の壁を越えて6単位以上修得すること、それぞれの専攻で抜群の成績を修めてもらうことを要求します。
さらに、博士課程後期3年の課程等(博士)では修士の時代に成績優秀でかつ質の高い研究活動を経験していることに加えて、
博士課程後期3年の課程等で行おうとする、独創的で質の高い研究計画書の提出を要求します。

本院の理念

既存の学術領域の融合により形成された新融合分野の研究から世界に向けて発信される研究成果を基盤に活動を展開しようとするものです。複眼的視野で多角的にみる見方が歓迎されるとともに、既存のディシプリンにとられない考え方が尊重されます。そして、既存の研究科等の枠にとられず、新たな総合的知を創造しうる世界トップレベルの若手研究者を養成することにあります。

異分野の融合によって生まれる
新研究領域に挑戦する大学院生支援

特に優れた大学院生に
経済的支援・研究支援

6つの新領域
(プラットフォーム)の開拓



物質材料・エネルギー 領域基盤

materials & energy

この領域では、機械工学・化学工学・電気/電子工学・土木/建築工学など材料に関わる多くの研究分野を横断的に融合することにより、新たな材料科学を開拓するとともに、最先端のエネルギー工学で求められる優れた新物質材料の開発及び機能の創出に必要な設計、合成、評価を先導できる人材を育てます。

生命・環境 領域基盤

life & environmental science

この領域では、生命・生物・環境を対象とした領域です。医学・歯学・薬学・農学・生命科学・環境科学・医工学等を専攻する大学院生の中で、従来の研究科の枠にとられず、生命・生物・環境の新しい展開を行える人材、また上記以外の研究科の大学院生で、この領域の新展開を行える人材を育てます。

6 platforms

研究教育院に応募する学生はこの6つのプラットフォームの中から自分の予定する研究内容に最も近いプラットフォームを選択することになります。

情報・システム 領域基盤

information & systems

この領域では、ナノエレクトロニクス、半導体、メモリ、ワイヤレスネットワーク、超広帯域伝送、画像認識・処理・圧縮・表示、言語・情報認識、生命及び生体に関する情報科学などを扱い、高度情報工学・先端材料・デバイス科学の融合を図ると共に、ネットワークを基盤とした高度で高範な情報化社会の構築を企画、担当、指導できる人材を育てます。

デバイス・テクノロジー 領域基盤

device technology

この領域では、実世界の情報をセンシングし、それを入力として処理を行い、処理結果により実世界に働きかけるために必須の要素である、半導体デバイス、化学デバイス、ナノデバイス、光デバイス、有機デバイス、MEMSデバイス等による、センサ、処理装置、プロセッサ、記憶装置、表示装置、アクチュエータなどの個々の新規デバイス技術の開拓や、高度な機能が統合された情報機器・装置の研究・開発やそれらの応用展開を図ることができ、未来情報社会の技術牽引力となり得るリーダーを育成します。

人間・社会 領域基盤

humans & social system

この領域では、人文科学・社会科学全般を射程に入れながら、人間と社会に関する融合的な研究を推進します。このような融合的な広い視野に立って①人間と社会の本質を深く理解でき、②人間と社会の複雑な関係を丹念に解きほぐせる人材を育てます。このために、人文科学内部や社会科学内部だけの融合的研究のみならず、人文科学と社会科学を横断するような研究も奨励します。

先端基礎科学 領域基盤

advanced basic science

この領域では、素粒子から原子・分子の世界、それらから構成される物質、さらに地球及び宇宙の神秘にまたがる普遍的物理及び化学の概念の理解と、それに基づくサイエンスとテクノロジーについて幅広い自然科学的視野をもち、実践的応用まで見据えることができる人材を育てます。

本院の組織と運営

本院の組織は、異分野融合による新領域の創出を担える人材の養成を実現するために、研究・教育に様々な新しい試みを展開しようとする実践的な学内共同教育研究組織です。本院は、基盤長会議のほか各部局からの代表委員による運営専門委員会によって運営されます。また必要に応じて運営専門委員会にワーキンググループが置かれ、必要事項の調査・検討が行われます。日常業務の執行は総合戦略研究教育企画室が本院の事業の推進、企画・運営にあたります。

学際高等研究教育院運営組織

学際高等研究教育院長

総合戦略研究
教育企画室

運営専門委員会

審査委員会

先端基礎科学領域基盤
人間・社会領域基盤
デバイス・テクノロジー領域基盤
情報・システム領域基盤
生命・環境領域基盤
物質材料・エネルギー領域基盤

学際科学フロンティア研究所

連携

基盤長会議

